

東京都 スポーツ推進委員だより

第128号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2023年 3月 3日

編集：情報委員会

社員総会



令和4年度 第2回社員総会

令和4年9月28日(水)18時30分、武蔵野公会堂会議室にて定刻通り、第2回社員総会が実施された。



まず新島会長から、「今年5月以来の対面会議となり、また季節はスポーツの秋ということで、引き続きコロナ感染対策を徹底しつつ、様々な場面でスポーツの環境作りに関して、改めて、皆さまへのお願いとご協力を申し上げます」とのご挨拶があった。

次に、東京都生活文化スポーツ局の中川様より、東京都が実施している様々な活動の情報提供があった。また、公益財団法人東京都障害者スポーツ協会の柳橋千恵係長からも、同様に、同協会が実施している様々な活動のお知らせがあった。

最後に、定足数の確認がなされ(出席40名、委任状6名 合計46名)、続いて議長の選任、議事録署名人が確認された。

同総会における議事は、以下の通りである。

◆報告事項

1)理事会報告(山本委員長)

第3回(6月8日)、第4回(7月13日)、第5回(9月14日)に実施された理事会の報告があった。詳細は配布議事録などを参照。

2)各委員会(各担当委員)

- 企画総務委員会(山本委員長)
 - ・配布議事録などを参照(第3回)
- 研修委員会(中村委員長)

- ・配布議事録などを参照(第2回、第3回)

○情報委員会(平野委員長)

- ・配布議事録などを参照(第3回)

○リーダー委員会および初任者講習会報告(吉田委員)

- ・配布議事録などを参照(第1回)

3)財務報告(飯ヶ谷財務)

- ・特になし(付記:男性会員数(897名)/女性会員数(583名)2022年8月末)

4)会長会(新島会長)

- ・配布議事録などを参照

5)ニュースポーツ研修会(中村委員長)

- ・配布議事録などを参照

6)令和5年度東京都広域地区別研修会事前説明会(中村委員長)

- ・資料なし(当日は、来年度のブロック担当者に集まり頂き、質疑応答が行われた)

7)令和4年度東京都広域地区別研修会(各担当者より、約3分程度の報告)

- ・第1B:新宿区(7月2日)
- ・第2B:台東区(8月6日)
- ・第3B:渋谷区(7月9日)
- ・第6B:八王子市(9月10日)
- ・第7B:瑞穂町(9月17日)
- ・第8B:昭島市(7月23日)
- ・第9B:府中市(9月10日)
- ・第10B:東久留米市(9月17日)



8)その他
特になし

・第11B：神津島村・新島村（11月25日）
※各ブロックとも、対面での実施を予定している。

◆確認事項

1)東京マラソンアンケート結果（新島会長）

- ・配布議事録などを参照（結果：参加しない38地区／参加したい9地区）
- ・この結果により、都スポ協としては、一定の役割を果たしたと判断し、今後は各地区の判断に委ねる事とした。

2)第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会（新島会長）

- ・11月17日(木)・18日(金)開催予定。
- ・東京都からは当初、50名以上の参加希望があったが、運営上の理由により、50名とさせて頂いた。東京都の会員数が1,500名を超えると、文部科学大臣賞が2名⇒3名となる。受賞者詳細は、添付資料などを参照。

3)令和4年度東京都広域地区別研修会（新島会長）

- ・第5B：江戸川区（10月1日）
- ・第4B：板橋区（10月22日）

4)都スポだより（127号）（平野委員長）

- ・9月16日に発行済

◆閉会の辞

その後、岡田副会長によって閉会の辞が述べられ、20時10分に散会した。

また、本会議においては、引き続きコロナ感染拡大予防等に関して十分な対策が講じられ、安全に実施された。



記事・写真

斎藤 利之 情報委員会（東久留米市）

研修会



課題別研修会

令和4年11月5日（土）14時から立川市市役所の302会議室において、最近注目を集めている「ゆるスポーツ」について「ゆるスポーツの理念を理解し、地域活動に活用できるスキルを身につける」という内容で研修会が行われました。市区町村部から62名が参加しました。

研修会に先立って島田副会長より、今回の研修会で得たものを今後のスポーツ推進委員の活動に役立ててより良い事業が行われるよう期待する旨の挨拶がありました。



研修会は講演とグループワークの二部構成になっており、初めに公益社団法人横浜市スポーツ協会のスポーツ事業部 地域連携課長（兼 横浜ゆるスポーツ協会理事）青井純子様による講演がありました。ご自身の紹介から始まり、ゆるスポーツの説明、紹介、現状、今後の展望、そしてゆるスポーツの魅力について講演していただきました。講演の終わりにはゆるスポーツの競技紹介として「くつしたまいれ」の実演をしました。



次の2部では事前に振り分けられたA～Fグループによる「ゆるスポーツの創生」を題材としたグループワークを行いました。最初に横浜市のご当地ゆるスポ

ーツの一つ「トライ・トレイン」という競技の実演がありました。

最後に中村委員長の挨拶をもって、今回の研修会が締めくくられました。

今後のスポーツ推進委員の活動の場において活用できることはもちろん、老若男女健障（年齢、性別、

障害有無問わず）全ての人々がスポーツを楽しめる「ゆるスポーツ」という取り組みについて学ぶことができたとてもいい研修会になりました。

記事・写真 長谷川 恵二 情報委員会（昭島市）

全国大会



第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会

令和4年11月17日（木）・18日（金）、滋賀県草津市 YMIT アリーナにて全大会が行われた。対面開催は3年ぶりとなる全国大会は『わた SHIGA 輝く未来のために』～スポーツでつながる喜びを～をテーマに参加者数を約半分に抑え、約2000人が参加する大会となった。



最初は東京パラリンピック トリアスロン競技 PTS4 銀メダリスト宇田秀生選手による演題「今しかできないこと」の講演。26歳で仕事上の事故で右腕を失い、術後5日目にはパラリンピックに出られると新婚の奥さんと話したとのこと。左側だったら命を落としていたと医師から言われた程大きな損傷にもかかわらず、できることを考える前向きさに会場中が驚いて聞いていた。海外へ遠征し大会に出たり、練習しているが、日本が一番障がい者を見る目が冷たいと感じるそうだ。恥ずかしいことだと思った。宇田選手は人を惹きつけ、笑いを誘う障がいがあるとは思えない笑顔の絶えない人物だった。

次にスポーツ庁からの情報提供があり、「運動部活動の地域移行と地域スポーツ環境の整備について」の話があった。スポーツ推進委員に期待される活動はますます大きくなりそうだ。

シンポジウムは翌日の分科会への序章とも言える内容のテーマ：「わた SHIGA 輝く未来をつくる」コーディネーター：早稲田大学教授 木村和彦氏、シンポジスト：長積 仁氏（立命館大学スポーツ健康学部教授）、奥田睦子氏（京都産業大学現代社会学部教授）、

山本博一氏（滋賀県スポーツ推進委員協議会会長）

スポーツの価値を多方向から考える必要があること、スポーツ推進委員の成果を再定義する必要があること、地域スポーツの土壌作りにスポーツ推進委員は不可欠であることなどが発表された。

二日目は第1と第2の分科会に別研修が行われた。

第1分科会 会場：YMIT メインアリーナ テーマ：「わた SHIGA 輝く未来を育む」～スポーツを通じたwith コロナでの地域社会の形成～ コーディネーター：長積 仁氏（立命館大学スポーツ健康学部教授）発表者：安富 圭司氏（徳島県佐那河内村産業環境課長）、阿部 洋介氏（株式会社ルネサンス海外事業推進部次長）、山崎隆司氏（滋賀県甲賀市スポーツ推進委員会委員長）

第2分科会：「わた SHIGA 輝く未来をともに」～スポーツを通じた共生社会の実現に向けて～ コーディネーター：奥田睦子氏 発表者：滝下香代子氏（京都府綾部市スポーツ推進委員協議会会長）、別宗利哉氏（GENESIS 株式会社代表取締役）、川井滋雄氏（滋賀県障害者スポーツ協会アドバイザー）各発表者たちが、コロナ禍での活動について発表し今後の活動の参考となる内容を話してくれた。

全国から人数制限を設けての開催となったが、やはり人と会うということの大切さをひしひしと感じた全国大会で、スポーツに関わる人々となつがる喜びを実感した大会であった。



記事 松田 文子 情報委員会（豊島区）

写真 菅野 宏潔 情報委員会（台東区）



<受賞者の皆様>

受賞おめでとうございます

「敬称略」

<文部科学大臣表彰>



清水裕三（墨田区）



井上充代（文京区）

<スポーツ推進委員功労者表彰>



近藤幸雄（中央区）



濱谷佳彦（世田谷区）



塩野啓子（国立市）



勅使河原麻美（日の出町）



伊藤まゆみ（江東区）

<30年勤続表彰>



清水学（中央区）



金子和子（新宿区）



小林真理（日野市）



新島二三彦（羽村市）



吉江友秋（羽村市）



沖山秀彦（八丈町）

<優良団体表彰>



千代田区スポーツ推進委員協議会

記事・写真 松田 文子 情報委員会（豊島区）

研修会



実務研修会



令和4年12月3日（土）13時30分から墨田区曳舟文化センターのレクリエーションホールにおいて、「誰もが楽しめるスポーツ教室」をテーマに、元日本体育大学教授 野村一路先生を講師にお招きして、令和4年度実務研修会が開催されました。81名が参加しました。

研修会に先立ち新島二三彦会長より、今回は東京都のキャラバン事業との共催であり、障がいのある人もない人も一緒に楽しめるスポーツ事業の担い手になってもらいたいとの挨拶がありました。

講演では、まずスポーツプログラムサービスの提供について、障がいの現状や障がいのスポーツに関するデータや意識調査の結果についてお話しがありました。

次に、事業手順の紹介として、A-PIE プロセスの説明がありました。Assessment アセスメント（査定）のA、Planning プランニング（企画・計画）のP、Implementation インプリメンテーション（実施・実行）のI、Evaluation エバリュエーション（評価）のEです。中でもアセスメントが重要であり、アセスメントにより対象者の特性・長所・改善点などが明確になり、それをよく理解しておくことが重要であるとの

ことでした。プランニングにおいてはアクティビティ分析を行い、その際に障がいのある人だけを念頭において分析しないこととの注意がありました。対象者の成果を考えてプログラムを実行し評価する、評価に対してリアセメントする、といったプロセスを繰り返して螺旋状に積み上げて行く、との話がとても心に残りました。

最後に「障害者差別解消法」についての話がありました。

今後の活動に役立つ有益な研修会でした。



記事・写真 國崎 由実子 情報委員会 (葛飾区)

社員総会



令和4年度 第3回社員総会



令和4年12月7日(水)19時、深川スポーツセンターにて、第3回社員総会が実施された。

まず新島二三彦会長から、新型コロナウイルスが完全に収まったとは言える状況下ではないが、広域地区別研修会など年内予定されていた全ての研修会が無事終わったことに対して謝辞が述べられた。

続いて情報提供として東京都教育庁人事部職員課 額野様、東京都スポーツ文化事業団 石崎万里様、東京都障害者スポーツ協会 柳橋千恵様、北嶋大輔様より本日配布の資料の情報提供がなされた。

その後、定足数の確認がなされ(出席38名、委任状10名、合計48名) 続いて議長の選任が行われた。

◆報告事項

1) 理事会(岡田副会長)

第6回(10月12日)、第7回(11月9日)に実施された理事会の報告があった。

2) 各委員会(各担当委員長)

○企画総務委員会(岡田副会長)

第4回(9月28日)、第5回(11月25日)に行われ

た会議について説明があった。

○研修委員会(中村委員長)

第4回(10月5日)、第5回(11月3日)に行われた会議について説明があった。

○情報委員会(平野委員長)

都スポだより128号の編集作業、および「地域スポーツ支援研修会」の準備を進めていることについて説明があった。

○リーダー委員会(濱谷委員長)

今年度からリーダー養成研修会に参加された方は、最低2年間リーダー委員会への参加が義務付けられた。

3) 財務報告(飯ヶ谷財務)

4) 課題別研修会(中村委員長)

11月5日(土)に実施された課題別研修会の内容について説明があった。だれでも参加できる「ゆるスポーツ」を題材とした研修会が行われた。スタッフも含めた参加者は62名でした。

講師：横浜ゆるスポーツ協会 青井純子氏

第1部(講演)「ゆるスポーツの魅力とは」

第2部(グループワーク)

みんなで「新しいゆるスポーツ」を創作してみよう

会場:立川市市役所 302会議室

アンケート結果の報告がなされた。

5) 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会(新島会長)

11月17日(木)・18日(金) 滋賀県草津市 YMITアリーナ他で開催された。

コロナ禍ということで各都道府県参加人数の制限があり、東京都からは50名が参加した。

テーマ:「わた SHIGA 輝く未来のために」

～スポーツでつながる喜びを～

講演：「今しかできないこと」 講師：宇田秀生氏
シンポジウム：「わた SHIGA 輝く未来をつくる」
第2分科会：「わた SHIGA 輝く未来をともに」

6)実務研修会（中村委員長）

12月3日(土)に実施された実務研修会の内容について説明があった。スタッフも含めた参加者は81名でした。

講師：元日本体育大学教授 野村一路氏
テーマ：「レッツエンジョイ！スポーツラーニング」
会場：墨田区曳舟文化センター レクリエーションホール

アンケート結果の報告がなされた。



7)令和4年度東京都広域地区別研修会報告（各担当地区社員から報告）
第4B板橋区（10月22日）、第5B江戸川区（10月1日）、第11B神津島村・新島村（11月25日）

◆確認事項

1)東京都地域スポーツ支援研修会（平野委員長）
区部 1月21日(土) 港区リーブラ
市町村部 2月11日(土・祝) 立川市アイム
全域 2月25日(土) 文京区民センター

2)都スポ協「交流ポッチャ大会」（岡田副会長）
2月23日（木・祝）
会場：三鷹市市民協働センター 第一会議室
参加対象者について質問があった。

最後に松田副会長から閉会の辞が述べられ、総会は滞りなく終了した。

記事 平野 秀夫 情報委員会（江戸川区）
写真 加来 剛 情報委員会（豊島区）

研修会



障害者スポーツセミナー

令和4年12月17日（土）13時30分から、港区スポーツセンターサブアリーナ（5F）において、「障がいの有無を問わず取り組めるスポーツ活動の事例」と題して、ADISC（アディスク）知的障がい者サッカークラブ及び多摩ハンドサッカー倶楽部に、日頃から実践しているスポーツをひと工夫するだけで、障がいの有無や程度に関わらず一緒に楽しむことが出来るスポーツの事例紹介及びグループワークを行った。

事例紹介においてADISCは、「Do it 楽しむこと!!」を理念とし誰でも楽しくスポーツをすることで心身共に健康の推進を図る事を目的とし、早速、絵や手拍子やジェスチャーを用いて、皆さんがわかりやすく個性豊かで楽しい準備運動から始まり、そして、チームに別れその場で作る工夫ルール（走らない・膝以上にボールを蹴り上無い等）のサッカーミニゲームを行い、知的障がい者と共に楽しくスポーツを行いました。

そして、多摩ハンドサッカー倶楽部は、雪 琢馬代表から、障がい者と健常者が一緒にスポーツをする意義をご自身も生まれつき脳性まひの障害をお持ちの経験から熱く実践報告をなされてから、ハンドサッカーのポイントゲッター、スペシャルシューターや健常者と障がい者別のルール説明を受け、チームに別れてハンドサッカーを体験し、こちらも障がいの有無や程度に関わらず一緒に楽しむことが出来るスポーツだと認識

した。

グループワークにおいては、4グループに別れ、①「ハンドサッカーを知的障がいのある人と一緒に楽しむためには?」、②「視覚に障がいのある人（全盲）と一緒にターゲットスポーツをしよう！（ポッチャは除く）」、③「ADISCの選手（知的障がい）が今後もっとサッカーが上達するためには!？」、④「片側に麻痺のある人と1対1でラケットスポーツを行うことになりました。安全に一緒に、ラケットスポーツを楽しむためには?」というグループごとにテーマ設定し、グループ発表してセミナーが終了した。

今回のセミナーでは、工夫したわかりやすいコミュニケーションを使用したり、ルールを単純明快にしたりすることで、安全に楽しくスポーツを共生できることを改めて認識させられ、今後に生かせる有意義なセミナーになりました。

記事 菅野 宏潔 情報委員会（台東区）
※写真は、撮影禁止の為無し

研修会 		広域地区別研修会報告	
地区	担当地区	期日・会場	研修テーマ・講師
1B	新宿区	7月2日(土) 新宿区立四谷スポーツスクエア	共生社会の実現を目指して～障がい者の目線から想いを学ぶ～ 講師：岡澤政子氏
2B	台東区	8月6日(土) 台東リバーサイドスポーツセンター	状況・環境に合わせたスポーツ実施率の向上を目指した企画・運営 講師：順天堂大学スポーツ健康科学部准教授 室伏由香氏 講師：株式会社エンパブリック ソーシャル・スポーツプロジェクト・プロデューサー 久保田淳氏
3B	渋谷区	7月9日(土) 渋谷区役所	東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー 講師：東京2020パラリンピック 車いすラグビー日本代表 池崎大輔氏 障がい者スポーツとのかかわりについて 講師：東京都障害者スポーツ協会 スポーツ振興部長 藤田勝利氏 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを訪ねて 講師：千葉大学工学部総合工学科准教授 豊川斎赫氏 スポーツ義肢装具づくりを通して感じるパラスポーツの魅力 講師：(公財)鉄道弘済会義肢装具サポートセンター 研究所長 義肢装具士 臼井二美男氏
4B	板橋区	10月22日(土) 板橋区立ハイライフプラザいたばし	パンデミックに備えたスポーツ活動とその推進について 講師：株式会社つくばウェルネスリサーチ 取締役 塚尾晶子氏
5B	江戸川区	10月1日(土) タワーホール船堀	TOKYO2020以降の日本社会におけるパラスポーツの意義 講師：パラ卓球日本代表 渡邊剛氏
6B	八王子市	9月10日(土) 八王子市市役所会議室・職員会館体育室	スポーツを通じた障がい者との交流 ～豊かな社会づくりを考える～ 講師：日本工学院八王子専門学校 伊藤重彦氏
7B	瑞穂町	9月17日(土) 瑞穂中央体育館	地域スポーツ活動とスポーツ推進委員の役割 講師：東京都障害者スポーツ協会スポーツ振興部 地域スポーツ振興課係長 屋敷可菜恵氏
8B	昭島市	7月23日(土) 昭島市民会館小ホール(オンライン)	パラスポーツの啓発から共生社会の実現に向けて 講師：東京都障害者スポーツ指導者協議会会長 植田敏郎氏 東京都障害者スポーツ指導者協議会地域部 NPO 法人障がい者スポーツクラブHIMAWARI 栗原寿江氏
9B	府中市	9月10日(土) 市民センタープラッツ バルトホール	コロナ禍におけるスポーツ推進委員に活動について
10B	東久留米市	9月17日(土) 東久留米市スポーツセンター	夢の舞台を振り返る「東京2020大会のサポートを通して」 講師：東海大学教授 勝田隆氏
11B	神津島村・新島村	11月25日(金) ニューピア竹芝サウスタワー	スポーツ事故に遭遇したら～スポーツ事故対応について

記事 平野 秀夫 情報委員会(江戸川区)

編集後記

皆さん、こんにちは。新しい様式ではありますが、対面形式の研修会も復活開催されるようになり、コロナ禍の取り組みなど今後の活動に活していきたいですね。5月8日からコロナは感染症法上の分類が現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられることとなりますが、私たちのコロナ禍の経験を活かし、スポーツの取り組み方・内容・環境を考え、慎重に判断しスポーツを推進していかなければならないことを思うと、そこからが本当の「with、コロナ」の始まりなのかもしれないと考えようになりました。今年は、兎年でもありますので、情報を共有し、皆様の新しいスポーツの様式での活動が、飛躍の年になるようにご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集 菅野 宏潔 情報委員会（台東区）

#####